

令和4年度
教育委員会事務事業の執行状況
＜上半期＞

憧れを未来につなぎ

生きる力をはぐくむ宮代教育

宮代町教育委員会

方針1 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

施策（1）一人一人のよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実	… 3
ア 授業改善と指導方法の工夫・改善	
イ 1人1台情報端末を活かした学びの推進	
ウ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用	
エ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実	
オ 中学校区を中心とした特色ある小中一貫教育の推進	
施策（2）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進	… 5
ア 伝統と文化を尊重する教育の推進	
イ 外国語活動・英語教育の推進	
施策（3）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進	… 5
ア 1人1台情報端末の積極的活用	
イ 情報教育の推進	
ウ 環境教育の推進	
施策（4）特別支援教育の推進	… 7
ア 適正な就学を目指した就学支援の充実	
イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進	
ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用	
施策（5）教職員の資質向上	… 7
ア 人事評価制度の活用	
イ 教職員研修の充実	
ウ 教職員モラルの向上	
エ 教職員の健康管理の充実	
オ 学校における働き方改革の推進	
施策（6）学習環境の整備・充実	… 9
ア 学校施設・設備の整備	
イ 教材教具の整備と効果的な活用	
ウ 町立小中学校の適正配置	
エ 就学に対する支援	

基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成

施策（1）豊かな心をはぐくむ教育の推進	… 11
ア 道徳教育の推進	
イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進	
ウ 読書活動の充実	
エ 進路指導・キャリア教育の推進	
施策（2）総合的な不登校対策の推進	… 11
ア 教育相談体制の充実、適応指導教室の活用	
イ 不登校対策の推進	
施策（3）健康・安全教育の推進	… 13
ア 交通安全教育の推進	
イ 防災教育の推進	
ウ 防犯教育の推進	
エ 体力向上を図る指導の充実	
オ 学校保健の充実	
施策（4）学校教育における人権教育の推進	… 13
ア 人権教育推進体制の充実	
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善	
ウ いじめ防止対策の推進	
施策（5）学校給食の充実と食育の推進	… 15
ア 学校給食の充実	
イ 食育の推進	

基本目標3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

施策（１）家庭・地域と連携した特色ある学校づくりの推進	・・・ 17
ア コミュニティ・スクール設置の推進とその充実	
イ 学校応援団の推進	
ウ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進	
施策（２）大学等と連携した学校教育の推進	・・・ 17
ア サイエンスプロジェクトの推進	
イ プログラミング教育の充実(再掲)	
施策（３）家庭・地域への情報発信の推進	・・・ 17
ア 学校教育情報の積極的な発信	
イ 学校評価の充実	

方針2 町民の創意を生かした学びの場づくり

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

施策（１）家庭の教育力の向上	・・・ 19
ア 家庭教育事業の推進	
イ 家庭教育への支援	
施策（２）青少年健全育成の推進	・・・ 19
ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進	
イ 青少年体験活動の推進	
ウ 育成団体との連携・支援	

基本目標5 生涯学習とスポーツの振興

施策（１）町民の創意を生かした生涯学習の推進	・・・ 21
ア 生涯学習の機会の充実	
イ 公民館活動の充実	
ウ 図書館活動とサービスの充実	
エ 文化芸術の振興	
施策（２）人権教育の推進	・・・ 23
ア 地域社会や職域における人権教育の推進	
イ 人権啓発資料の充実	
ウ 人権教育指導者の育成	
施策（３）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造	・・・ 23
ア 文化財保護の推進	
イ 遺跡の保護と調査研究の推進	
ウ 文化財の活用と郷土学習の推進	
エ 資料館活動の充実	
施策（４）地域スポーツの振興	・・・ 27
ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	
イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進	
ウ スポーツ施設の運営と利用促進	
エ 学校体育施設利用の促進	
オ スポーツ指導者の養成と団体支援	

方針1 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

◎令和4年度 新規・拡充

施策(1) 一人一人のよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実

ア 授業改善と指導方法の工夫・改善 ・学校課題研究の推進 ・町研究委嘱 各小中学校での授業研究実践 ・新学習指導要領の全面実施（中学校） 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	学校教育
イ 1人1台情報端末を活かした学びの推進 ◎個別最適な学びの実現 ・ICT活用計画の作成 ・教員スキル向上のためのフォローアップ計画の充実 ・情報モラル教育の充実	学校教育
ウ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用 ・学力向上等検討委員会 調査結果の分析による各校課題の解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取り組み内容、成果、課題等の研究	学校教育
エ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実 ・町費非常勤講師配置 少人数指導やティームティーチングの指導による、個に応じたきめ細やかな指導	学校教育
オ 中学校区における特色ある小中一貫教育の推進 ・小中一貫教育推進委員会 各小中学校で特色を生かした年間計画の作成と実践、課題共有 ・交流活動、交流授業、出前授業 島村盛助を顕彰する英語活動発表会、小中合同研修会 ・9年間を見通したカリキュラム	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

▼宮代町教育委員会による委嘱研究推進（各小中学校）

町委嘱研究発表会開催

東 小 令和4年11月17日予定

テーマ 「自ら考え、学びに向かう東っ子の育成
～思考し、判断・表現する力を育てる授業の工夫～
(国語科を中心として) (2年次)

前原中 令和4年11月18日予定

テーマ 学ぶ力を高め、主体的・協働的に学び合える生徒の育成
～新たな時代の授業づくりを目指して～ (3年次)

▼宮代町教職員全体研修会開催（令和4年8月26日）

▼宮代町教育課程検討委員会（令和4年12月15日予定）

▼ICT活用法研修会（年間8回開催）

活用方法や情報モラル等について

▼学力向上等検討委員会（年間3回開催）

調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の共有

第1回学力向上対策委員会

期日：令和4年5月10日

内容：令和4年度各小中学校の学力向上の取組

第2回学力向上対策委員会

期日：令和4年8月24日

内容：埼玉県学習状況調査の活用について

第3回学力向上対策委員会

期日：令和4年12月13日予定

内容：県・全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取組

▼小学校 非常勤講師を8人配置し、個に応じた指導を実施

非常勤講師が担任と協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れた、特に算数の授業において個に応じたきめ細かな指導

▼中学校 非常勤講師を6人配置し、個に応じた指導を実施

非常勤講師と教科担任が協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導が充実

各校の実態に応じて、国語1名、社会1名、数学1名、国語及び理科で2名、英語及び美術で1名分を配置

▼小中一貫教育推進委員会（年間2回開催）

第1回 令和4年6月16日

各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取組について

第2回（令和5年3月9日）予定

各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について

▼交流活動、交流授業、出前授業、9年間を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進

施策（２）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進

ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 ・ 郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会 ・ 小学校 社会科副読本の活用	学校教育
イ 外国語活動・英語教育の推進 ・ 英語教育研修会の実施 ・ 英語科授業の充実 小学校２校につき１名配置 日本人英語指導助手の配置 ・ 英語教育の充実を図るため、希望する児童生徒に対し英語検定受検料の助成	学校教育

施策（３）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進

ア １人１台情報端末の積極的活用 ◎学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用 ・ ICT活用計画の作成 ・ 教員スキル向上のためのフォローアップ研修の充実	学校教育
イ 情報教育の推進 ・ 情報モラル教育 児童生徒、保護者、教職員を対象とした情報モラル教育実施による、ネットトラブル防止を含めた、情報モラル意識の向上 ◎GIGAスクール構想の推進 ・ 児童生徒１人１台の情報端末、ICT機器、メディアボックス（デジタル教材）を活用した教育活動の展開	学校教育 教育総務
ウ 環境教育の推進 ・ 宮代江戸の日＜夏＞（７月の第１土曜日）の取組 ・ 宮代江戸の日＜冬＞（１月の第２土曜日）の取組 ・ キッズエコサミット（１２月）の開催	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

- ▼郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会
＜須賀中学校区(10月21日)＞＜百間中学校区(10月26日)＞＜前原中学校区(10月20日)＞
※オンラインで実施予定
- ▼社会科副読本編成委員会の開催（年間3回開催）

-
- ▼外国人英語指導助手（A L T）配置
（中学校各1名、小学校2校に1名）
具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上のため活用

- ▼日本人外国語活動補助員を配置（小学校各1名）
教員とA L T、児童とのコミュニケーションの活発化

- ▼外国語活動・英語教育研修会の開催（令和4年8月24日）

- ▼英語検定受験料の助成
第1回（令和4年6月4日）
第2回（令和4年10月1日） 予定

令和4年度上半期の執行状況

- ▼I C T活用法研修会（年間8回開催）
活用方法や情報モラル等について

-
- ▼プログラミング体験学習
日本工業大学の学生、アクティブシニアの方々の協力
小学校6年生 3時間実施 予定

- ▼G I G Aスクール構想の推進
I C T研修会を通じて教員との意見交換の実施（6、8月）
更なるI C Tソフト導入の検討（9月）

-
- ▼環境教育担当者会議の開催（令和4年5月17日）
各校の環境教育の取組、キッズエコサミット・子ども環境会議について
 - ▼第1回子ども環境会議で江戸の日の取組の見直しの発議
どのような取組にするかは第2回会議(11月15日)で再検討予定
 - ▼キッズエコサミット（令和4年12月9日予定）
各校の取組発表、地球温暖化に関するパネルディスカッション
-

施策（４）特別支援教育の推進

ア 適正な就学を目指した就学支援の充実 ・就学支援委員会（年３回） 特別な配慮を必要とする児童生徒への教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援 ・特別支援学級 特別な支援を要する児童の教育的ニーズに応じた、適切な指導の実施 ・ことばの教室（百間小学校） 聴覚及び言語に課題のある児童に、課題の改善・克服に必要な技能を身につけさせる指導の実施	学校教育
イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進 ・交流活動の実施 宮代特別支援学校と小・中学校との交流活動 ・特別支援学校との連携（支援籍学習・共催の研修会・サポートチーム訪問 等）	学校教育
ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用 ・特別支援教育サポーター 特別な支援を要する児童の教育的ニーズに応じた支援の補助	学校教育

施策（５）教職員の資質向上

ア 人事評価制度の活用 ・年間スケジュールに基づいた人事評価の充実	学校教育
イ 教職員研修の充実 ・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 ・各種研修会への参加推進	学校教育
ウ 教職員モラルの向上 ・倫理確立委員会（各校） 年間計画に基づいた、ボトムアップ型の委員会実施	学校教育
エ 教職員の健康管理の充実 ・教職員健康診断の実施（８月） ・ストレスチェックの実施（１０月）	学校教育
オ 学校における働き方改革の推進 ・ふれあいデーの設定 ・校務支援のためのＩＣＴ化	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

- ▼就学支援委員会（年間3回開催 令和4年6月9日 11月9日 令和4年1月12日予定）
特別な配慮を要する児童生徒に対しての教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援
- ▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問
（各校1回以上実施）
児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案
- ▼百間小学校「難聴・言語通級指導教室」2教室開設
登録児童数41名（授業数：週1時間/児童）

-
- ▼交流活動（宮代特別支援学校、小中学校間）
百間小学校、前原中学校で実施

- ▼支援籍の実施（各小中学校）
小学校5名、中学校1名 実施

-
- ▼特別支援教育サポーター配置（小学校各1名）
特別な配慮を要する児童に対しての適切な支援

令和4年度上半期の執行状況

- ▼年間スケジュールに基づいた人事評価の充実
適切な人事評価実施のために研修会実施
-
- ▼対象、階層別研修
臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実
各種研修会の実施
-
- ▼倫理確立委員会及び服務研修会の実施（各小中学校）
-
- ▼教職員健康診断（令和4年8月19日）
 - ▼ストレスチェック（令和4年10月予定）
-
- ▼ICTの活用
各種研修会をオンラインで実施
-

施策（６）学習環境の整備・充実

ア 学校施設・設備の整備

- ・小中学校施設の管理運営（保守、修繕・改修）
- ・教育系ネットワークシステム
校務支援システムの活用
- ・ＩＣＴ教育の推進 プログラミング教育
タブレット端末、メディアボックス等ＩＣＴ機器の活用

◎学校トイレの計画的な改修

学校施設の衛生面での改善を図るため、主に小学校低学年が利用するトイレから順次全面改修を実施
中学校トイレの全面改修に向けた実施設計の実施

◎非構造部材耐震改修工事の実施

小中学校体育館の非構造部材（バスケットゴール、照明等）の耐震改修工事の実施（R4対象：須賀小中学校体育館）

学校教育
教育総務

イ 教材教具の整備と効果的な活用

- ・教材教具・備品整備

学校教育

ウ 町立小中学校の適正配置

◎小中学校の適正配置に関する取組の開始

今後の小中学校適正配置の方向性について保護者・住民等へ周知
須賀小学校再整備に向けた基本構想等の検討

- ・広報活動
「教育だより」発行

教育総務

エ 就学に対する支援

- ・就学援助制度の活用・推進

学校教育

令和4年度上半期の執行状況

▼学校施設環境の維持・改善

6月の雹被害による学校施設の修繕（8月完了）
笠原小学校PC教室改修工事（8月完了）

▼教育系ネットワークシステム

校務支援システムによる児童生徒情報管理、成績処理

▼ICT教育の推進、プログラミング教育

1人1台情報端末を活用した教育活動の実施

▼学校トイレの計画的な改修

一部トイレの全面リニューアル工事の実施（8月完了）

▼屋内運動場非構造部材改修工事の実施

指名競争入札による業者選定及び契約の締結（6月）

▼中学校トイレ改修工事設計業務の委託

改修箇所の選定及び業者選定・契約締結の実施（9月）

▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実

国語・算数数学・体育・音楽・家庭科等の教材教具
ミシン、琴、キーボード、カホン、アルトサックス、ボッチャゲーム用ボールセット、
掛図スクリーン、球の切断面説明図、新展開線の立体模型、ライト色立体等

▼小中学校の適正配置の取組に関する周知の実施

広報5月号特集記事の掲載
町内4ヶ所で説明会の実施 令和4年5月24日、29日、31日、6月5日
説明会内容の動画作成及びYoutubeでの配信

▼須賀小学校の再整備に向けた取組の実施

須賀小学校の再整備等地域拠点施設整備プロジェクトチームの設置と先進事例の視察、活用
できる補助金や法的な制限等の調査の実施

▼教育だよりの発行（9月）

▼就学援助費の支給（ ）内は前年度

小学校	対象者	金 額
就学援助費支給者	104名	2,460,079円
	(102名	2,261,906円)
特別支援教育就学奨励費支給者	24名	261,660円
	(23名	274,856円)
新入学児童生徒学用品費支給者	12名	628,860円
	(9名	473,730円)
中学校		
就学援助費支給者	65名	3,143,742円
	(81名	2,316,874円)
特別支援教育就学奨励費支給者	8名	82,435円
	(8名	95,860円)

基本目標 2 健康で心豊かな児童生徒の育成

施策（１）豊かな心をはぐくむ教育の推進

ア 道徳教育の充実 ・ 宮代道徳の日（毎年１１月１９日）の取組 規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取組の充実 ・ 郷土資料・彩の国道徳資料の活用 郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）を活用した、心の教育の推進 道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上	学校教育
イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進 ・ みどりの学校ファーム 米作り、野菜作りの実施 ・ 各小中学校での福祉体験学習 車椅子・点字・手話・アイマスク体験	学校教育
ウ 読書活動の充実 ・ 図書ボランティアの活用 各小中学校の図書室の整備・本の紹介等、読書環境の充実 ・ 町立図書館との連携強化 図書館司書の巡回と新図書館システムによるデータ連携	学校教育
エ 進路指導・キャリア教育の推進 ・ 中学生社会体験チャレンジ事業の推進 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通した、生徒の勤労観、職業観の育成	学校教育

施策（２）総合的な不登校対策の推進

ア 教育相談体制の充実、適応指導教室の活用 ・ 相談、支援体制の整備 教育相談員配置（事務局１名）、学校訪問（月１回） スクールカウンセラー（県より中学校に２名、小学校に年１１回配置） さわやか相談員（各中学校１名配置） ボランティア相談員（各中学校１名配置） 不登校対策学習支援員（各中学校に１名配置） スクールソーシャルワーカーを小学校に１名配置（拠点校 百間小） 子供の家庭環境による問題に対処するために、関係機関との連携や教員を支援 ◎教育支援センターの運営 ・ 一人一人の特性等に応じて、自立と学校生活への復帰の支援 ・ 児童生徒、保護者及び学校が抱える様々な悩み等に対する教育相談	学校教育
イ 不登校対策の推進 ・ 宮代町いじめ不登校対策連絡会議の開催（年３回） ・ 各校でいじめ防止基本方針の周知	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

- ▼「宮代道徳の日（11月19日）」の設定（各小中学校で実践）
規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた取組準備
- ▼郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用
身近な地域教材を活用した心の教育の推進
道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上
- ▼年次研修における授業研究会の実施

▼学校ファームの推進（各小中学校）

- ▼各小中学校での福祉体験学習 実施予定
（車椅子・点字・手話・アイマスク体験）

▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実（各小中学校）
小学校における「読み聞かせ、読み語り」の実施

- ▼職場体験学習を各中学校で実施（中学2年生）
事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験活動は中止 → 職業調べ等で代替

令和4年度上半期の執行状況

- ▼不登校対策学習支援員配置（中学校各1名）
- ▼教育相談員（教育支援センターに1名配置）
教育支援センター長、教育相談員による学校訪問（適宜）
- ▼さわやか相談員（中学校各1名配置）、ボランティア相談員
（中学校各1名配置）
さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援
- ▼スクールカウンセラー（県より各小中学校に1名ずつ配置）
須賀中 毎週、前原中・百間中 隔週
各小学校年11回
専門的な見地からの保護者への支援や相談活動
- ▼スクールソーシャルワーカー配置（拠点：百間小学校）

- ◎教育支援センター開設及び運用開始
適応指導教室への通級申込延べ17件、教育相談件数延べ150件

- ▼いじめ・不登校対策会議の実施（年間3回、各学期1回）
各校の課題や成果ある取組についての共有化

施策（３）健康・安全教育の推進	
ア 交通安全教育の推進 ・学校安全教育に関する計画の作成 ・交通安全教室（各小中学校）	学校教育
イ 防災教育の推進 ・避難訓練（各校） - 地震・火災・竜巻対応訓練の実施	学校教育
ウ 防犯教育の推進 ・防犯ブザー配布（小学１年生） ・薬物乱用防止教室 ・不審者対応訓練	学校教育
エ 体力向上を図る指導の充実 ・体力向上推進事業 - 授業研究会・各校の実態に応じた取組の実施	学校教育
オ 学校保健の充実 ・学校保健委員会 - 各校において児童生徒の健康増進に関する取組の実施 ◎感染症等の予防対策の実施	学校教育
施策（４）学校教育における人権教育の推進	
ア 人権教育推進体制の充実 ・宮代町人権教育推進協議会との連携 - 人権問題研修会開催、各種研修会への参加	学校教育
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善 ・子どもの人権講座（対象：小学６年生、１１月） ・人権作文発表会 ・人権作文「あおぞら」の発行 ・人権教育に関する研修会	学校教育
ウ いじめ防止対策の推進 ・いじめに関する保護者アンケートの実施 ・宮代町いじめ防止基本方針に基づく取組の実施	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

▼学校安全教育に関する計画の作成（各小中学校）

▼交通安全教室開催（各小中学校）

▼避難訓練（各小中学校）

地震、火災、竜巻等を想定した避難訓練及び引渡し訓練の実施

▼防犯ブザーの配布（新入学児童 全員）

▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催

▼不審者対応避難訓練の実施（各小中学校）

▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会

体育部会

進んで体力作りに取り組める児童生徒の育成

～運動の楽しさや喜びを味わわせ、思い切り汗をかく体育授業の実践～

保健部会

自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成

～情報端末を活用した健康教育～

▼令和4年度第69回埼玉県学校歯科保健コンクール

▼学校保健委員会の実施

各小中学校における学校保健委員会の実施

▼健康観察等の実施

登校時の検温、マスクの着用、換気の徹底

令和4年度上半期の執行状況

▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動

人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識を高揚

▼人権文集（あおぞら第28集）の発行準備 700部（編集中）

▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会

▼教職員研修会開催（令和4年8月19日）

テーマ「差別の現実から学ぶ」 50名

▼子ども人権講座（令和4年11月30日、12月7日 小学6年生）予定

▼人権作文発表会（令和4年12月2日 小中学生）予定

▼いじめに関するアンケートの実施（各小中学校）

▼いじめ・不登校対策会議の実施（年間3回、各学期1回）

各校の課題や成果ある取組についての共有化

施策（５）学校給食の充実と食育の推進

ア 学校給食の充実

- ・多様な献立メニュー
「世界の料理」「全国の郷土料理」「行事食」「我が家の自慢献立」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成する取組の実施
- ・地場産食材の活用促進
- ・アレルギー対策
除去食、代替食の提供
学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校）

◎感染症対策の徹底

全ての手洗い場を自動水栓へ切替

教育総務

イ 食育の推進

- ・栄養指導（全小中学校、小学１年生から中学２年生）
学年毎テーマを設けて食育を推進
- ・家庭向けの食育推進
給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）の発行

教育総務

令和4年度上半期の執行状況

▼多様な献立メニューの実施

「外国料理（コロンビア、ベトナム、ブルガリア）」「各都道府県の郷土料理」「季節の行事食」「リクエスト献立」「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成

▼地場産食材の活用

季節の行事食、郷土料理等に宮代町産食材を活用

▼アレルギー対策

除去食、代替食の提供

学校給食アレルギー対応会議の開催（各小中学校）

実態に則したアレルギーマニュアルの改訂（9月）

▼食育の推進

学年に応じたテーマによる栄養指導（小学1年生～中学2年生）

給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）による食育推進

基本目標３ 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

施策（１）家庭・地域と連携した特色ある学校づくりの推進	
ア コミュニティ・スクールの設置の推進とその充実 ・学校運営協議会を設定し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくり	学校教育
イ 学校応援団の推進 ・町民みんなが先生制度 ・環境整備、学習ボランティア 他	学校教育
ウ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進 ・こども１１０番の家 ・スクールガードの配置（各小学校で組織） ・通学路点検	学校教育
施策（２）大学等と連携した学校教育の推進	
ア サイエンスプロジェクトの推進 ◎理科の授業において、大学施設や設備を使った専門家による科学体験の実施（令和4年度 中学校1校で実施）	学校教育
イ プログラミング教育の充実（再掲） ・小学校において、日本工業大学と連携したプログラミング教育の推進	学校教育
施策（３）家庭・地域への情報発信の推進	
ア 学校教育情報の積極的な発信 ・各小中学校HP、学校だより等 ・授業公開、学校行事公開（運動会、文化祭、合唱祭等）	学校教育
イ 学校評価の充実 ・学校評価の実施と分析、活用、結果の公表	学校教育

令和4年度上半期の執行状況

- ▼コミュニティ・スクールの充実
 - ・学校運営協議会委員の委嘱（東小学校、須賀中学校）
 - ・学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった特色ある学校づくりの推進

-
- ▼学校応援団活動
 - 図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、
 - スクールガード 他

-
- ▼「こども110番の家」の設置（121軒）
 - 抑止力として、不審者による重大な事件発生なし
 - ▼「スクールガード」（各小学校で組織、計183名）
 - 「スクールガードリーダー」（小学校に各1名、県からの委嘱）
 - ▼各小中学校における避難訓練
 - ▼緊急時における対応マニュアルの見直し

令和4年度上半期の執行状況

- ▼サイエンスプロジェクトの推進
 - 教職員研修の実施（夏季休業期間中）
 - 児童生徒向け授業の実施に向け日本工業大学と調整

-
- ▼プログラミング体験学習
 - 日本工業大学の学生、アクティブシニアの方々の協力
 - 小学校6年生 3時間実施 予定

令和4年度上半期の執行状況

- ▼学校要覧、学校パンフレットの作成（各小中学校）
- ▼学校だよりの作成（各小中学校） 地域へも配布
- ▼学校ホームページの更新（各小中学校）

-
- ▼学校関係者評価の実施

- ▼保護者、地域への学校評価の公表
 - 学校の課題の明確化及び次年度に向けての教育計画の更新
-

方針2 町民の創意を生かした学びの場づくり

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

施策(1) 家庭の教育力の向上	
ア 家庭教育事業の推進 ・家庭教育学級開催 学校との連携	生涯学習
イ 家庭教育への支援 ・家庭教育支援 入学準備金貸付金補助 奨学資金貸付	教育総務
施策(2) 青少年健全育成の推進	
ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進 ・青少年非行防止活動（青少年育成推進員） 有害図書の区分陳列状況巡回確認、夜間パトロール実施など	生涯学習
イ 青少年体験活動の推進 ・子ども大学みやしろ 子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座を開設 ・新みやしろ郷土かるた大会 郷土宮代の歴史、名所、文化などを感じ、郷土愛を育むため実施 競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供 ◎放課後子供教室 放課後に安心して活動できる場を確保し、地域住民の協力により勉強やスポーツ・文化芸術活動等に取り組む機会を提供 ※百間小学校において実施	生涯学習
ウ 育成団体との連携・支援 ・青少年相談員活動（サマーキャンプ他） ・青少年育成推進員活動（非行防止パトロール他） ・子ども会育成連絡協議会との連携（かるた大会他） ・青少年健全育成団体支援（特定分野総括助成金）	生涯学習

令和4年度上半期の執行状況

▼家庭教育学級の開催

各小学校の就学時健康診断の時間を活用した親の学習会

百間小学校 10/4、笠原小学校 10/5、須賀小学校 10/6、東小学校 10/11（予定）

▼家庭教育への支援

入学準備金補助金 新規申請件数1件（R4.9月末現在）

奨学金貸付 新規申請件数0件（R4.9月末現在）

令和4年度上半期の執行状況

▼青少年育成推進連絡会

総会 6月3日（金）

青少年健全育成街頭キャンペーン 7月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

青少年非行防止夜間パトロール 8月 ※町民まつり規模縮小による要請なしのため中止
12月予定

有害図書等取扱店舗の巡視（コンビニエンスストア） 11月予定

▼子ども大学みやしろの開催(9月4日～11月27日 4日間)予定

日程 第1回 9月4日(土)

テーマ：「動物の10倍早く動く！植物の筋肉？」

第2回 10月16日(日)

テーマ：「お家でヒーロー！お洗濯お手伝いセミナー」

第3回 11月13日(日)

テーマ：「SDGsたんけんたい～エコキャンパスツアーへしゅっぱつ～」

第4回 11月27日(日)

テーマ：「光の謎」

▼新みやしろ郷土かるた大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

▼放課後子供教室 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中

▼育成団体との連携・支援

・青少年相談員サマーキャンプ

・青少年育成推進員活動（非行防止夜間パトロール他）

・子ども会育成連絡協議会との連携（かるた大会他）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・青少年健全育成団体支援（特定分野総括助成金）

交付団体：子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト宮代第1団

基本目標 5 生涯学習とスポーツの振興

施策（1）町民の創意を生かした生涯学習の推進

ア 生涯学習の機会の充実 ・みやしろ大学（対象60歳以上） - 運営委員（8名）を中心とした講義等の企画・運営	生涯学習
イ 公民館活動の充実 ・公民館3館の適正管理 - 利用者の安全と快適な利用環境づくりのため、週2回の巡回点検をはじめ、定期清掃、避難訓練などの実施	生涯学習
ウ 図書館活動とサービスの充実 ・町立図書館の管理運営（指定管理者との連携） ・図書館システムを活用した小中学校図書室との連携 ・調べる学習コンクールの開催 ・ビブリオバトル中学生大会の開催 ・デジタル郷土資料の活用（郷土史講座等） ・第2次図書館ビジョンの実現に向けた取組（開館時間の見直し等）	生涯学習
エ 文化芸術の振興 ・町民文化祭（11月3日～11月7日）開催予定 - 文化・芸術活動の成果の発表 - 舞台発表、作品展示、文化公演会の開催 ・文化芸術団体の支援（特定分野総括助成金） ◎まちなかどこでもミュージアム事業 ・ライセンス制度の構築 ・活動支援キットの貸出 ・著名アーティストによる作品展	生涯学習

令和4年度上半期の執行状況

▼みやしろ大学

運営委員：6名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

▼3館（和戸、百間、川端）体制により運営

（ ）内の数字はR3.9月末現在

「地域の身近な学習拠点」として、文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用

開館日数：和戸157日、百間157日、川端157日（R4.9月末現在）

稼働率：48.3%

利用者数：21,363人（19,043人）

利用回数：2,733件（2,592件）

▼指定管理者による管理運営

（ ）内の数字はR3.9月末現在

指定管理者：（株）図書館流通センター

指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日

・蔵書数

図書資料 268,730冊（266,593冊）

うち一般書 204,263冊（202,949冊）

うち児童書 64,467冊（63,644冊）

視聴覚資料 8,081点（8,011点）

・利用実績

開館日数 151日（151日）

貸出者数 39,992人（39,661人）

貸出冊数 142,083冊（139,569冊）

・月例・季節行事等の参加者数

延べ 1,398人（1,173人）

▼第44回町民文化祭

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

▼特定分野総括助成金の交付

市民団体との継続的な協働により町の文化芸術の振興を図るため、宮代町文化協会に対し助成金を交付

▼まちなかどこでもミュージアム事業

公共施設等で行われる文化芸術活動を場づくりの面からサポートするためイスやテーブル等の物品貸出を企画。また、町内アーティストを含む町に関連したアート情報を発信するため、「みやしろ・アート・インフォメーション」を創設。町ホームページとSNS（Twitter・LINE）を組み合わせ、町内外に広く情報発信する体制を整えた。

施策（２）人権教育の推進

ア 地域社会や職域における人権教育の推進 ・宮代町人権教育推進協議会 - 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくり - 部落差別解消法、障害者差別解消法等の法制定を踏まえた人権教育の実施	生涯学習
イ 人権啓発資料の充実 ・啓発資料購入、配布 ・啓発活動	生涯学習
ウ 人権教育指導者の育成 ・各種研修会への参加	生涯学習

施策（３）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造

ア 文化財保護の推進 ・文化財保護、保存 - 文化財保護委員会の開催（町指定文化財の審議等）	生涯学習
イ 遺跡の保護と調査研究の推進 ・埋蔵文化財発掘調査 - 文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業 ◎文化財調査報告書第２５集の刊行	生涯学習
ウ 文化財の活用と郷土学習の推進 ・歴史講座、こども体験講座の実施 - 夏休みを中心として各種の講座の実施 ・企画展、特別展の開催 ・文化財案内板設置	生涯学習

令和4年度上半期の執行状況

- ▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動
人権意識の高揚と差別のない明るい社会づくりの推進を図るため、研修会等を通して人権について考える機会を提供
総会及び研修会 6月16日 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
- ▼第31回埼葛人権を考えるつどい
10月6日(木) 久喜市民総合文化会館
- ▼人権作文発表会 12月2日(予定)
- ▼人権問題合同研修会 令和5年2月(予定)

-
- ▼人権文集(あおぞら第28集)の発行 (編集集中)

-
- ▼人権教育研修会の開催
宮代町教職員人権教育研修会 8月19日
テーマ「差別の現実から学ぶ」 50名

令和4年度上半期の執行状況

- 町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査
- ▼文化財保護委員会の運営(委員7名) 年3回予定
第1回 6月24日
主な内容: 令和4年度事業計画、指定文化財の候補の検討、文化財案内板設置箇所の検討
その他
第2回 12月中実施予定

文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業

- ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘
4件 個人住宅建設に伴うもの
(近接遺跡: 姫宮神社遺跡、国納丸屋遺跡、大崎遺跡隣接地)
- ▼遺跡の記録保存のために行われる発掘調査
0件
(当該遺跡: なし)
- ▼埋蔵文化財の遺物整理
昭和63年度・平成2年度地蔵院遺跡(収蔵整理)、平成29年度道仏遺跡、令和元年度姫宮神社遺跡等の整理作業を実施
- ▼文化財調査報告書第25集の刊行準備
原稿の執筆、レイアウトについてはほぼ終了。図版作成を実施中(拓本、写真撮影等)

-
- ▼町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動
各種講座・体験学習教室
7月27日～8月9日 夏休み体験学習「郷土資料館へ行こう」
対象 小・中学生 参加者 延べ76人
8月6日 かやぶき民家で聞く昔話 参加者19名
8月7日 移築民家と「アトラシイ」ゲキ17 来場者 15名

エ 資料館活動の充実

生涯学習

・郷土資料館管理運営

「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えのもと、特別展や企画展、講座等を実施、資料の整理、保存、調査、研究を推進

◎西原自然の森活用事業(移築民家活用)の推進

文化財保護に留意しつつ、一定ルールの下で町民が利用できる仕組みを作り、令和5年度からの本格運用に向けた準備

- ▼開館実績 日数144日 利用者総数4,544名 (9月末)
 - ▼普及、啓発事業の実施
 - 郷土資料館のホームページを通じた宮代町の歴史、文化財の紹介
 - 文化財、建造物調査報告書、古文書史料集、郷土史料など書籍として刊行されていない資料PDFで公開
 - ▼特別展・企画展の開催
 - 企画展「古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ」
3月12日～7月10日 2,064名 (4月～7月10日)
 - 企画展「身のまわりの生活史12 お皿いろいろ」
7月16日～10月23日 1,908名 (7月16日～8月末)
 - ▼古文書・民俗資料の整理
 - 新寄贈民具などの整理作業、諸家文書の整理作業
 - ▼各種研修受け入れ
 - 博物館学芸員実習受け入れ3人 7月26日～8月18日 (内、10日間)
 - ◎第5次総合計画「西原自然の森活用事業 (移築民家活用編)」
 - ▼西原自然の森サマーフェスタ
 - 「西原を探検せよ！」スタンプラリー 参加者 42名
 - 「大福帳づくり」 参加者 6名
 - 「古民家を味わう 蓄音機のしらべ」 参加者 2名
 - ▼西原自然の森フェスタ2022
 - 「古民家音楽会」12月4日実施に向けて、旧加藤家住宅を舞台に演奏を希望するグループからの申し出により、音楽祭を実施するため、調整を行っている。
-

施策（４）地域スポーツの振興

ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・町民スポーツフェスティバル（１０月９日） 町民の健康増進、体力の向上、生きがいづくりと地域コミュニティの醸成 ・綱引大会（１２月４日） ・各種スポーツ大会・教室 町民スポーツ大会、ファミリーハイキング、年少者スキー教室	生涯学習
イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進 ・さいかつぼーる体験（全１０回） ・あそびと運動 トライ（対象：小学校１・２年生 春・秋 各５回） チャレンジ（対象：小学校３・４年生 全１５回） ・出前講座 ・大人の体力テスト	生涯学習

令和4年度上半期の執行状況

▼町民スポーツフェスティバル2022（10月9日） 宮代町総合運動公園

▼第38回宮代町綱引大会（未定）

▼町民スポーツ大会

実施期間：6月1日～11月27日

種 目：8競技（野球、剣道、ソフトボール、サッカー、硬式テニス、バレーボール、卓球）

▼第25回ファミリーハイキング（未定）

▼第48回年少者スキー教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

▼少年少女スポーツ振興事業

- ・少年少女スポーツフェスティバル ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・少年少女ロードレース大会（未定）

▼さいかつぼーる体験（9月24日） 宮代町総合運動公園

今後の予定：10月15日、11月26日、12月17日、1月21日、2月18日、3月18日

▼あそびと運動

・トライ 小学1・2年生対象 10月16日、23日、30日（計3回）

・チャレンジ 小学3・4年生対象 11月～3月（計7回）

▼大人の体力テスト ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためアンケート形式による実施

ウ スポーツ施設の運営と利用促進 ・町営グラウンド、テニスコート、アーチェリー場の適正管理 地域の身近な運動広場として、草刈や修繕など適切な管理を行い、スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため地域活動などにも利用 ・ぐるる宮代の管理運営（指定管理者との連携） 指定管理者 ミズノグループ 代表企業 美津濃株式会社 指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間） 管理業務や経理状況に関する報告（随時）、定期打合せ（月1回）の実施 施設改修工事の実施	生涯学習
エ 学校体育施設利用の促進 ・学校施設開放（体育館、グラウンド）	生涯学習
オ スポーツ指導者の養成と団体支援 ・スポーツ推進委員活動（各種研修機会） ・スポーツレクリエーション団体支援（特定分野総括助成） 体育協会の広報活動、各加盟団体活動費等を助成 ・総合型地域スポーツクラブ育成支援	生涯学習

▼総合運動公園の管理運営 () 内の数字は令和3年9月1日現在
指定管理者：ミズノグループ
指定期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日
運営状況
開館日数：140日／153日
利用者総数：88,509人 (98,826人)
自主事業の実施
参加者延べ人数：18,117人 (14,784人)
テニス教室、水泳教室、バドミントン教室、新体操教室、健康体操等

▼総合運動公園整備等
・宮代町総合運動公園自動ドア修繕工事 令和4年7月完成

▼社会体育施設
グラウンド（東、前原、宮東、東条原）、宮東テニスコート、山崎アーチェリー場
利用者数 18,746人 (17,510人)

▼学校体育施設開放（夜間及び土日祝日の開放） () 内の数字は令和3年9月1日現在
体育館（各小中学校）、集会室（笠原小学校）、グラウンド（各小学校）
夜間照明（前原中学校）
グラウンド 173件 4,257人(216件、4,583人)
体育館等 481件 9,135人(450件 9,251人)

▼スポーツ推進員活動（推進委員11名）
・定例会 6月～9月開催
・協力事業
あそびと運動 トライ（小学1・2年生対象）全3回
チャレンジ（小学3・4年生対象）全7回
町民スポーツフェスティバル（10/9）

▼特定分野総括助成金の交付
市民団体との継続的な協働により、町のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、関係団体に対し助成金を交付
交付団体：宮代町体育協会、宮代町スポーツ少年団
